

ふたなりトランスダークネス

～巨大ふたなりチ○ポに腹ポコされる美柑ちゃん～

さあ美柑、
究極にえっちなこと始めましょう？



基本CG6枚
文字あり+文字無し 合計88枚

この町に来てからもう随分になる。
様々な人と出会い、殺し屋時代には考えられなかったような経験をし……
そして、初めて友人と呼べる存在ができた…。

美柑

最初は単に標的の妹だった彼女が、いつしか友人になり、
そして自分の身を賭してでも守りたい大切な人となった。
それだけならまだよかった。

私の美柑への想いは日に日に大きく強くなり、今はただ
四六時中彼女のことばかりを考えてしまう。

私は一体どうしたら……。

……は……？

やあ、金色の闇

あなたは……まさか、ネメシス……何故私の意識の中に？

まあそんなことはどうでもいいじゃないか
それより、お前の心の中、ちよっとばかり見せてもらったぞ
随分とあの娘にご執心のようだな

……なにを





!?! 服が…!?!

まあそう警戒するな
私はな、見たいんだよ

我が下僕にほだされ、不完全なダークネスとなった金色の闇

そんなお前が愛という
自ら抑えることのできない絶大な欲求を満たさんとするとき、

どんな存在へと変容するのかを…な?



私は…そんな風に美柑のことを見ているわけでは……

そうか？ ではお前の股から生えているそれはなんだ？

えっ？



これ……は……

結城美柑と繋がりたい、交わりたい……
そんな欲求が無意識にトランスを発動させ
それに適した体へとお前自身を作り変えているんだろう？

そんな……私は……ただ……美柑と一緒にいられば……

いい加減素直になれ、そして認めろ
お前にはそれを叶える資格も、力もある

さあ、目を覚ませ……お前の望むものは、すぐ目の前……に



今のは、夢……？

いや、あれは確かに………とどうかここは？
私は確かいつものようにルナテイク号で寝ていたはず……

……さんー ヤミさんー

この声は………？



ヤミさん! どうしてこんなことするの!?
お願いだからいつものヤミさんに戻ってよ!

美柑!?

ギキキッ

私は何を……?
いや、今はそんなことより…

すいません、美柑、今解きますから…!







私は、このままでいいのでしょうか……
このままトランスを解いて、美柑に謝って……
きっと美柑は許してくれるでしょう……
こんなことをした私を、次からは気を付けてねと言って、
いつものように……
そしてまたすぐに元の生活に……

へっ？ ヤミ……さん……？

申し訳ありません美柑……

私は、私が今からあなたにする行為を許してもらえども、受け入れてもらえども
思いません……ですが私は……

あなたのことが好きです



ジュルルツ

あなたのそばについて、あなたを感じていたい

私の知らないあなたを見たい。

だから美柑、ごめんなさい

待ってヤミさん、全然わかんないよ！
とりあえず一回放し……





ヤミさん、いやめっ……
こんなの、いつものヤミさんじゃ……

はあ、はあ……ごめんなさい美柑……
でも、なんなんでしょうが……

この心の底から湧き上がるえっちな気持ち……

ダメだとわかってはいるのに、
美柑の顔を見ていたら……

待って、ヤミさんダメだから！
これ以上はあつ……





はあ...はあ...

美柑、ごめんなさい...

こんな方法ですが、あなたへの想いを伝えられなくて

ハア
ハア
ハア

うん、もういいよ...

ヤミさんの気持ちはわかったから...
とどかくこれ...解いて...

はい...でも美柑...

トッ



ムッ

クワッ

アキッ

次は、私も気持ちよくなりたいたいです……

私は美柑を拘束していた髪をほどき、
そのまま彼女をそつとベッドに横たえる。

美柑は、私のこの行動についてどう思っているのだろう。
怒り？ 困惑？ 諦め？

彼女の表情はそのどれにも見えず、
あるいは別のなにかにも見えた。

それでも私は、もう後戻りはできない……。

自分の正直な気持ちを打ち明け、
そして同時にとんでもないことをしてしまった。

仮に今日限りで、この惑星を去ることになっても……
それでも私は美柑と……



美柑？

私は今からあなたに、とてもえっちなことをします…
えっちなことで、とても罪深いことです…

うん、はいよ…

……えっ？

美柑



その、もちろん友達としてだけど……
私もヤミさんのことは大好きだし……

それに、私のことが好きっていう感情が生まれたのは、
友達として喜ぶべきことなのかなって

だからね……その、
私の初めてでヤミさんが嬉しいって思ってくれるなら……

私は、いいよ?



美柑……

あなたは……こんな状況でも私のために……
美柑、大好きです……
ごめんなさい、今だけは
あなたの優しさに甘えさせてください

これ、挿れますね……







いっ……だ……

(美柑、とても温かい……)

……大丈夫……ですか？

う、うん、大丈夫……だよ
私のことはいいから……

ヤミさんの、好きなように……ね？

はい

あ、んん……

美柑、伝わってきます……
あなたの温もり……痛みや、感情……

私のこのえっちな突起を通して、とても色んなものが、
私の中に流れ込んでくる……

美柑ごめんなさい、でも大好きです！

んん

パンッ

んん

んん

んん





あ
ん
っ
、
ん
っ
、
あ
あ
、
美
柑
……
何
か
、
出
る
ッ



はあはあ……ヤミさん、もう大丈夫……？

……はい、ごめんなさい、美柑

ううん。いいんだよ、さつきも言ったでしょ？
私もヤミさんのこと大好きだから

では私は……

これからもあなたの隣にいてもいいのでしょうか？

うん、もちろん

美柑……ありが——

どぴゅん

どぴゅん

ハア
ハア
ハア

ハア





その瞬間、
私の体は金色の光に包まれ、同時に熱を帯び始めます。
前にも覚えがある……忘れもしないこの感覚は……
まさか――

.....
「その姿...ヤミさん...」
なの？

あなた、
それですよ美柑

あなた「エロ」の姿を見せるのは初めてでしたっけ

（何？の人 ヤミさんだけ？.....ヤミさんじゃないみたい）



以前は心の平穏を受け入れるという
受動的なトリガーからダイクネスを発動させた私ですが
今は違います

美柑。今の私はあなたを愛し、
あなたを手に入れるためにダイクネスを発動させた

あなたを快樂の渦に沈め、私だけを見てもらうために……

何言ってるの……？ ヤクザさん、ちよっつゆ飾らぶよ

さあ、見てくれたわさ



!?

オ
口
シ



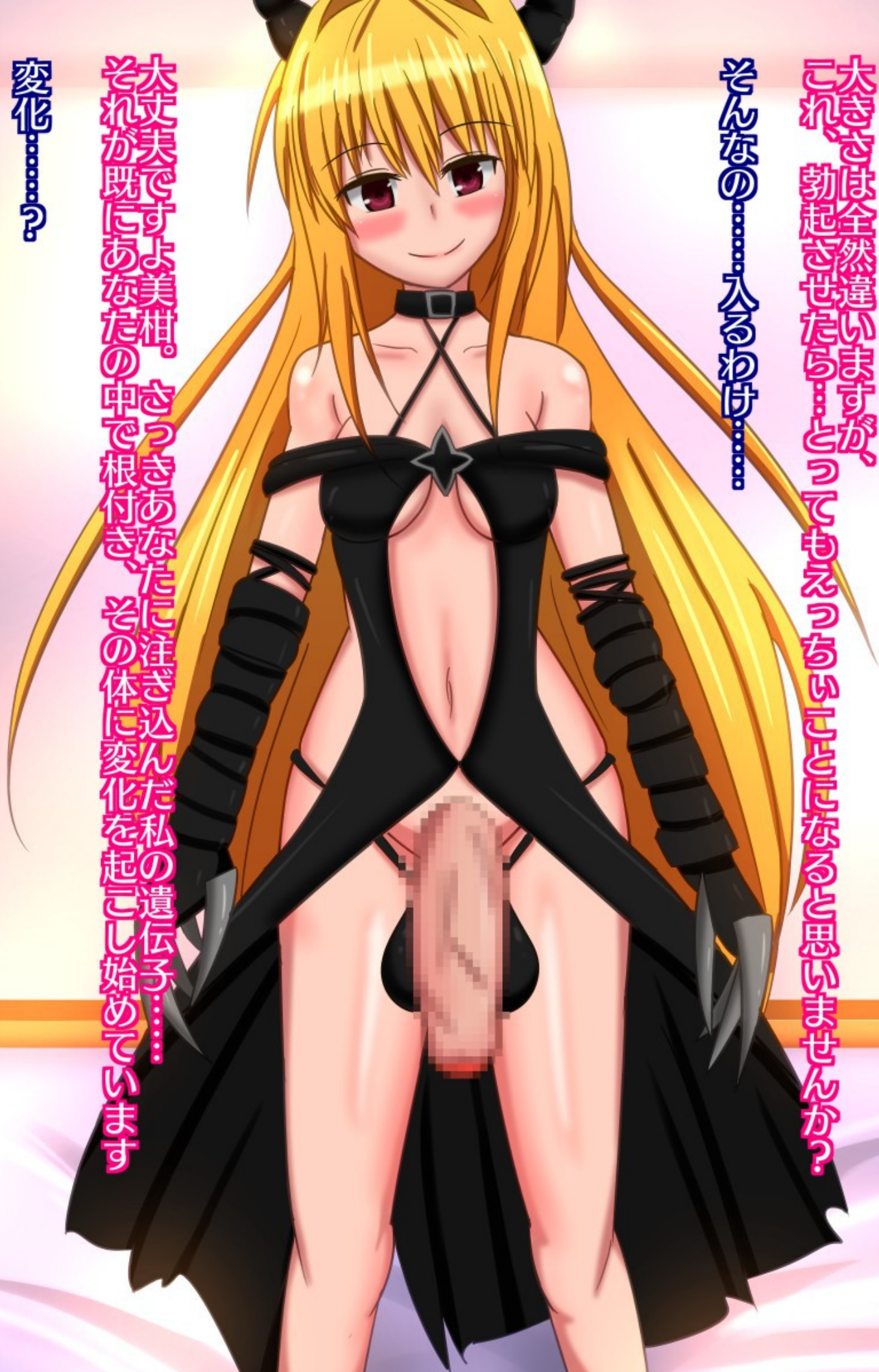
結城リトのをモデルに作ってみました

大きさは全然違いますが、
これ、勃起させたなら……とっってもえっちなことになると思いませんか？

そんなの……入るわけ……

大丈夫ですよ美柑。さつきあなたに注ぎ込んだ私の遺伝子……
それが既にあなたの中で根付き、その体に変化を起こし始めています

変化……？



トランス能力です

私の意のままに体の形を変えられる美柑に
もう限界なんてありません

ひっ……

さあ美柑、私と一緒に究極にえっちいーと
……してみましょ？



ヤミさん、一体何をやる気なの……

美柑、私この惑星の文化を知りたくて
色々な本を読みました。

そして知りました。

恋や愛という感情、さらにその先にあるえっちなこと……
この惑星の人間は、オスの大きく
硬い生殖器を好むそうですね

大きければ大きいほど、
硬ければ硬いほど、メスの快感が強くなるから

私は美柑に気持ちよくなってもらいたい、
私なしではいらなくなるような
底知れぬ快感を味わってもらいたい……

それを可能にするのがトランスです



っ!
!?

ビ
キ
ッ

ビ
キ
ッ

ほら、どうですか美柑?

地球人では絶対にありえないサイズです
えっちい気分になつてきましたか?

やだ……無理……だよ

あれえ〜? おかしいなあ……

私の予定ではもっと喜んでくれるはずだったのに
ああ、それとも、嫌よ嫌よも好きのうちってやつ?



ほら美柑、大丈夫だから身をゆだねて？

今からあなたの体をトランスで変化させます。

感度を高め、私の大きなオチンチンを
体全体で受け入れられるように！

イ...イヤ...

大丈夫です、肺が圧迫されるので
最初はちよつと苦しいかもしれませんが
すぐにそれも快感に感じられますよ！

じゃ、いきますね

やめっ



ギチギチッ

グワッ



がっ、がっ、がっ

美柑、あなたも感じていますか？
この充実感、悦び、快樂に溺れる感覚を！

美柑、好きです！
ずっと、ずっとこのまま一緒にいましょうね！

がっ、がっ、がっ

がっ、がっ、がっ

がっ、がっ、がっ
がっ、がっ、がっ
がっ、がっ、がっ

結城リトのこともプリンセスのことも、
宇宙の果ての二人きりの世界で！
全部全部はれて

美柑、これが、私の愛の証です！
受け取ってください！





はあはあ、美柑。愛しています

おっ
おっ

はあ

はあ

グニッ

グニッ

グニッ
グニッ

では、行きましようか……
ずっと遠く、誰にも見つからない
宇宙の果てへ





あっ、はあ、はあ、美柑、私のこと好きですか？

私のオチンチンで小さなお腹
パンパンにできて気持ちいいですか？

えっちい気分ですか？

うん……ヤミさんのコト……スキ……

あっ
うっ
あっ
あっ
あっ

嬉しいです、美柑……また、出しますね

ウン



あ、出た…出ましたよ？
もう一回、もう一回しましょうね、美柑

.....

永遠に、何回も、何回も
壊れたらまたトランスで修復してあげますから
何回も…何回も

ビュッ
ビュッ

うっ
あ..

あ..

いままでも…ねっ？

ニギッ
ヒッ
ユッ

ビュッ
ビュッ





ふむ、予定通りダークネスを発動させたのはいいが
まさか金色の闇がここまであの娘にこだわっていたとはな

とはいえあれから何年もこの調子だ…
さすがに観察するのも飽きてきたぞ……

まあいい、何年後か、何十年後かはわからんが、
お前が満足した頃にまた戻ってくるよ

それまでじきに会いませう



FIN

